



◆人権・同和問題啓発標語◆

少しずつ
ふやしていこう
思いやり
令和5年度 解放文化祭展示作品

くらんど人権文化 センターだより

-発行-
宝塚市立くらんど人権文化センター
住所：宝塚市中野町2番19号
電話：0797-73-2222
FAX：0797-73-2223
～差別解消と人権学習の場～

謹賀新年

本年もくらんど人権文化センターをよろしくお願ひいたします。

展示・催し

今年で47回目を迎えたくらんど解放文化祭は「互いを尊重し、差別のない社会を作ろう」をテーマとして10月26日(木)、27日(金)の二日間にわたって開催しました。文化祭当日はもちろん、準備から片付けまでご協力いただいたたくさんの方々に御礼申し上げます。

今回は、コロナ禍が明け4年振りにステージ発表や模擬店のある文化祭でした。市内保育園・小学校の園児・児童や市民の皆さんにお越しいただき、二日間で大人861人、子ども1,219人、合計2,080人の方にご来場いただきました。

ミニ消防車と園児たち



手話教室 クイズ、手話歌



民謡友の会 みんなで踊ろう



婦人会 昔の食試食会



体験版 介護予防体操



小林エイサー隊



わくわくまつりの創造



わくわく子ども太鼓



山崎市長も飛び入り

ビンゴゲーム



体験版 生命の貯蓄体操



良元コミュニティ 喫茶すみれ



文化祭アンケートより

- ・くわしい展示があり大変勉強になりました。
- ・子どもたちの元気な姿にこちらも元気を頂きました。
- ・今までフワッとしか知らなかった部落について知ることができた。
- ・小さな子どもから大人までほっこりしたコミュニティを感じました。
- ・展示物等、きれいに見やすくされていてよかった。
- ・昔の食、茶がゆおいしかったです。
- ・パンフレットのあいさつ文が心に響きました。
- ・差別を隠そうとしたり、簡単に人を傷つけることができる時代だからこそ解放文化祭を行う意義があると思います。
- ・参加し、何かを感じることで差別をなくす第一歩だと思います。
- ・狭山事件の現状を知ることができました。

人権問題講演会

講師：北川真児さん

「いまあらためて部落問題を考える」と題して、一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所研究員の北川真児さんにお話しいただきました。



和太鼓集団「熱光」



夜間の時間帯にもかかわらず数多くの方に来場いただきました。最後にはアンコール演奏もあり、大変な盛り上がりの中に終了しました。